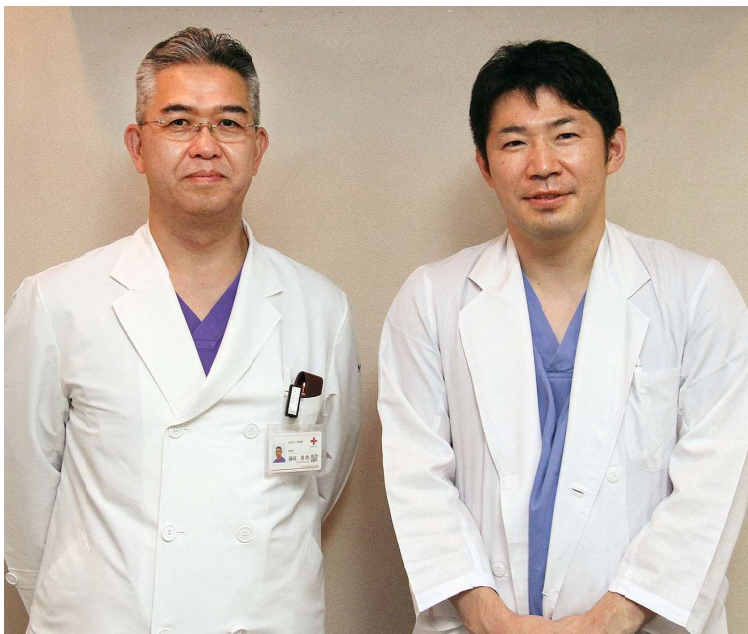


# 清水赤十字病院に

## 血管外科外来

### 透析患者らに安心の治療環境を



血管外科専門外来で診療に当たる菊地助教と藤城院長（右から）

【清水】清水赤十字病院（藤城貴教院長）は11月、旭川医大循環・呼吸・腫瘍病態外科学講座（東信良教授）の協力で、血管外科専門外来を新設した。同講座の専門医が月2回、下肢の血管疾患を中心に診療する。血管疾患のリスクが高い透析患者らに、安心して治療を受けられる環境を提供する。

### 月2回、下肢中心に

西部3町（清水、新得、鹿追）にはこれまで血管外科の専門医がいなかった。下肢静脈瘤（りゅう）の診療をはじめ、人工透析をするに当たって血管（内シャント）手術が必要になった

際も、芽室や帯広の医療機関を受診しなければならず、高齢者や透析患者らにとって負担となっていた。同講座医局長の菊地信介助教（36）＝新得町出身＝が以前から同病院で派遣診療を続けており、それを拡充するかたちで専門外来開設が実現した。菊地助教を中心に診療に当たる。

同講座は血管疾患の治療において国内外で高い評価を得ており、特に下肢の血管障害に起因する足の傷の治療率は国内トップの実績を有する。菊地助教は「むくみやただれ、痛み、静脈瘤など足のことで気になることがあれば相談を」と話す。

生活習慣病や高齢化を背景とした下肢の血管疾患は潜在的に多い。また、同院ではすでに多くの慢性腎臓病患者が人工透析を受けており、透析に伴って血管の治療を必要とするケースも少なくない。藤城院長は「移動の負担無く、世界レベルの治療を地元で受けられる意義は大きい」と話している。

診療は第1・3金曜午前。予約不要。問い合わせは同病院（0156・62・2513）へ。（丹羽恭太）